

2012年度 一般入試第一次試験
学部・学科別使用試験問題一覧

試験日	学部・学科等	使用試験問題
2月10日(金)	法学部(法律学科)	7英語、4日本史、4世界史、4数学、3国語
	外国語学部(フランス語、イスパニア語、ロシア語学科)	7英語、4日本史、4世界史、4数学、7国語

<訂正>

実施日	試験問題	訂正箇所	誤	正
2月10日	4日本史	P.10 3 問1 5行目	(C)によって11世紀に大成された	(C)によって大成された
		P.11 3 問1 2~3行目	泉湧寺	泉涌寺
		P.13 3 問7 (6)	参勤交代の廃止	参勤交代の緩和
		P.13 3 問8	問題文1~7行目を差し替え	史料中の空欄(い)には、この異学の禁の推進者で讃岐高松出身の学者が(史料中は通称で)名指しされている。空欄(う)には、同じく異学の禁に関わった人物が(史料中は通称で)指摘された。また、もう一人、上記(い)、(う)とともに、伊予出身の人物(え)がいた。これらの人物は「寛政の三博士」と呼ばれる。後に、(う)が代官となり、先のグループから離れたのち、佐賀藩士で、はじめ陽明学を学び、のちにこのグループに加わった人物(お)がいる。
	3国語・7国語	P.9 二 本文 3行目	よころび 悦て	よろこび 悦て

入試問題 訂正

10 ページ ③ 問1 5行目

(誤) (C) によって11世紀に大成された

↓

(正) (C) によって大成された

11 ページ ③ 問1 2～3行目

(誤) 泉湧寺 → (正) 泉涌寺

13 ページ ③ 問7 (6)

(誤) 参勤交代の廃止 → (正) 参勤交代の緩和

13 ページ ③ 問8

問題文1～7行目を以下に差し替えます

史料中の空欄 (い) には、この異学の禁の推進者で讃岐高松出身の学者が (史料中は通称で) 名指しされている。空欄 (う) には、同じく異学の禁に関わった人物が (史料中は通称で) 指摘された。また、もう一人、上記 (い)、(う) とともに、伊予出身の人物 (え) がいた。これらの人物は「寛政の三博士」と呼ばれる。後に、(う) が代官となり、先のグループから離れたのち、佐賀藩士で、はじめ陽明学を学び、のちにこのグループに加わった人物 (お) がいる。

以上

2012年度一般入試

入試問題訂正紙

試験日：2012年2月10日（金）

学部学科：法学部 法律学科
外国語学部 フランス語学科、
イスパニア語学科、ロシア語学科

科目：4日本史

この訂正紙は、試験が始まるまで開いてはいけません。

監督から試験開始の合図があった後、問題の訂正および
差し替えをしてください。

(2012年度)

4 日本史問題 (60分)

(この問題冊子は16ページ、4問である。)

受験についての注意

1. 監督の指示があるまで、問題冊子を開いてはならない。
2. 携帯電話・PHSの電源は切ること。
3. 試験開始前に、監督から指示があったら、解答用紙の右上の番号が自分の受験番号かどうかを確認し、氏名を記入すること。次に、解答用紙の右側のミシン目にそって、きれいに折り曲げてから、受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し、机の上に置くこと。
4. 監督から試験開始の合図があったら、この問題冊子が、上に記したページ数どおりそろっているかどうか確かめること。
5. 解答は解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで、そのマーク欄をぬりつぶすこと。その他の部分には何も書いてはならない。
6. 筆記具は、HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能、計算機能、辞書機能などを使用してはならない。
7. マークをするとき、枠からはみ出したり、枠のなかに白い部分を残したり、文字や番号、枠などに○や×をつけたりしてはならない。
8. 訂正する場合は、消しゴムでていねいに消すこと。消しきずはきれいに取り除くこと。
9. 解答用紙を折り曲げたり、破ったりしてはならない。採点が不可能になる。
10. 試験時間中に退場してはならない。
11. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
12. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

1 奈良時代の都および都をめぐる状況について書かれた以下の文章を読んで後の問いに答えなさい。ただし、文章中には一部の語句が伏せてある個所(A～U)があるので、歴史的に正しく補って読むこと。

この時代、中央から地方へは(A) (駅路) が七道の諸地域に向けて整備されており、途中の約(B) kmごとに(C) が設置され公用の際に使われた。これを駅制とよぶ。一方、地方では規格化された道路(伝路)が郡家などを駅路とは別個に結んでいたようで、地方交通網についても既に比較的整備されていた事実が、発掘調査などで確認されている。地方の中心となるのは(D) で、政庁である国衙や役所・倉庫などが設置され、国司の居館も設けられた。郡家も、(D) と類似した機能をもつ施設を備えて、郡内での中心地の役割を果たした。また、当時隆盛となった鎮護国家の思想を背景に、(D) には国分寺や国分尼寺が造られるようになり、地方の仏教および文化的中心としての役割を担った。

海外に目を向けると、(E) になるころ、唐の(F) 攻撃などの影響によって東アジア情勢が不安定になったのに呼応して、中央政府には日本海側の地に(G) 柵や(H) 柵を設置するなどの動きがあり、あわせて阿倍比羅夫を(I) 天皇の時代に現地に派遣して北方の蝦夷との関係改善も図った。しかし、8世紀にはいると、蝦夷への対応は、融和政策よりも軍事力による制圧政策が基本となるように変化し、(J) が築かれ、陸奥には国府となる(K) も置かれた。この頃になると、農作技術も向上し鉄製の農具などもいっそう普及した。住居も、前代以来の(L) に代わって平地式の(M) が一般化しつつあり、この住居は(N) 日本から次第に広まってきたものと考えられている。

一方、都である平城京の様子は、地方とは一変するものがあった。(O) 天皇は、710年に(P) より平城京に遷都した。これは、現在の奈良市にあたり、以後(Q) 年に長岡京に遷都するまでこの地に都が置かれた。都は、唐の長安にならって造営され、東西と南北に走る街路で碁盤の目状に区画整理されていた。このような形式を(R) と呼ぶ。都の北部中央には平城宮が位置し、都の中心を東西に分けて南北に走る(S) 大路が設けられ、この大路の東側を左

京，西側を右京と呼んだ。左京と右京はほぼ対称的な形をしていたが，左京の東側に外京とよばれた市街地が存在したため，都全体としてみると，後代の平安京のような整った対称形とみることはできない。京内には，貴族や官人のほか庶民の住居も建てられており，当時の人口は(T)万人に達したと考えられている。経済の様子をみると，左京と右京にはそれぞれ官営の市が設置され，監督として市司が置かれた。市では，地方からの物産や官吏などに現物支給された物品が交易された。鑄造された貨幣も流通したが，とくに地方では一般に物々交換の方が盛んに行われていたこともあり，政府は，貨幣の流通を図るため，(U)年に蓄銭叙位令を出したもののその実効性は疑わしいとされている。

問1 前掲した文章中の伏せられた語句(A)～(U)について歴史的に正しいものを選びなさい。

A ① 公道 ② 衛道 ③ 街道 ④ 官道

B ① 9 ② 11 ③ 14 ④ 16

C ① 駅舎 ② 駅家 ③ 寄駅 ④ 厩駅

D ① 国府 ② 鎮守府 ③ 郡衙 ④ 県庁

E ① 6世紀末 ② 7世紀初頭 ③ 7世紀半ば ④ 7世紀末

F ① 新羅 ② 高句麗 ③ 金 ④ 渤海

G ① 金成 ② 淳足 ③ 丸森 ④ 志波

H ① 桃生 ② 雄勝 ③ 八橋 ④ 磐舟

I ① 元正 ② 齐明 ③ 聖武 ④ 孝謙

J ① 秋田城 ② 能代城 ③ 弘前城 ④ 大曲城

K ① 古川城 ② 大衡城 ③ 多賀城 ④ 栗駒城

L ① 竪穴住居 ② 横穴住居 ③ 高床住居 ④ 茅葺住居

M ① 掘立柱住居 ② 板葺住居 ③ 入母屋住居 ④ 曲屋住居

N ① 東 ② 西 ③ 南 ④ 北

O ① 元明 ② 桓武 ③ 文武 ④ 持統

P ① 藤原京 ② 摂津京 ③ 紫香樂京 ④ 難波京

Q ① 784 ② 787 ③ 791 ④ 794

R ① 条里制 ② 条坊制 ③ 郷里制 ④ 方矩制

S ① 青龍 ② 白虎 ③ 朱雀 ④ 玄武

T ① 10 ② 15 ③ 20 ④ 25

U ① 709 ② 711 ③ 713 ④ 715

問2 次にあげる寺院は、いずれも平城京とかかわりの深いものである。それらの寺院について、下記の問いに答えなさい。

- ① 秋篠寺 ② 元興寺 ③ 薬師寺 ④ 大安寺
⑤ 興福寺 ⑥ 東大寺 ⑦ 法華寺 ⑧ 唐招提寺

イ 平城京左京に位置していたもの2つを選びなさい。

ロ 平城京右京に位置していたもの2つを選びなさい。

ハ 平城京の外京に位置していたもの2つを選びなさい。

ニ 平城京の京域外に位置していたもの2つを選びなさい。

2 以下に掲げた短文A～Jは、平安時代末期～鎌倉時代初期の人物に関する説明である。よく読んで、下記の問いに答えなさい。

A 後白河天皇の第3皇子で、1180年、の勧めに応じて平氏打倒を計画、諸国に挙兵を促す令旨^(a)を発した。

B 源頼朝の配下として平家打倒に活躍、その滅亡後は九州経営に努めたが、やがて伊豆国に配流され殺された。

C 源頼朝の支援を得て摂政・関白・太政大臣となったが、頼朝のある計略^(b)に反発したことが一因となり、失脚した。『玉葉』は彼の日記である。

D 源頼朝の従兄弟で、1183年にに勝利して入京し、翌年にはに任命されたが、源範頼・義経の軍に攻められて敗死した。

- E 桓武平氏の出身で、千葉介と称した。拳兵の直後に石橋山の戦いで敗れ、房総に逃れてきた源頼朝を とともに支援した。
- F 奥州平泉の豪族藤原秀衡の子で、源頼朝に屈して、匿っていた を殺害するが、後に鎌倉勢に攻められて殺された。
- G 公家出身で、源頼朝に招かれて公文所の初代別当となった。
- H 公家出身で、源頼朝に招かれて問注所の初代執事となった。
- I の一族で、侍所の初代別当となった。合議制に加わり有力御家人として力を持ったが、後に北条氏と鎌倉で戦い敗死した。
- J 源頼朝の養子で、北条時政の後妻の娘婿。時政は、この人物の讒言によって を謀殺し、さらに源実朝をも殺しこの人物を将軍に立てようとした。

問1 短文A～Jは、それぞれ誰の説明文になっているか。次の語群から、もっとも適切な人名を1つずつ選びなさい。

[語群]

- | | | | |
|--------|--------|--------|---------|
| ① 源範頼 | ② 藤原基衡 | ③ 源義経 | ④ 小山朝政 |
| ⑤ 千葉常胤 | ⑥ 三善康信 | ⑦ 大江匡房 | ⑧ 藤原泰衡 |
| ⑨ 大江広元 | ⑩ 源頼政 | ⑪ 三善清行 | ⑫ 和田義盛 |
| ⑬ 北条義時 | ⑭ 比企能員 | ⑮ 九条頼経 | ⑯ 以仁王 |
| ⑰ 九条頼嗣 | ⑱ 葛原親王 | ⑲ 九条兼実 | ⑳ 三浦義澄 |
| ㉑ 平賀朝雅 | ㉒ 畠山重保 | ㉓ 梶原景時 | ㉔ 上総介広常 |
| ㉕ 源義仲 | | | |

問2 短文A～Jの下線部(a)～(e), 空欄 ～ について, 以下の問いに答えなさい。

- (1) 空欄 に当てはまる人物の名前としてもっとも適切なものを, 問1の語群より1つ選びなさい。
- (2) 下線部(a)の説明としてもっとも適切なものを, 次から1つ選びなさい。
- ① 天皇の命令・意思を伝えるために発する文書。
 - ② 天皇の意思を, 側近で仕える蔵人が承って伝える形式の文書。
 - ③ 東宮の意思を特別に伝えるための文書。
 - ④ 皇后・皇太后・皇太子・親王・王らが, 命令・意思を伝えるために発する文書。
- (3) 短文Bの人物と, 源頼朝との続柄は何であったか。もっとも適切なものを, 次から1つ選びなさい。
- ① 兄弟 ② 従兄弟 ③ 叔父・甥 ④ 親子
- (4) 短文Cの人物が立てた九条家は, 藤原四家のいずれから分立したか。もっとも適切なものを, 次から1つ選びなさい。
- ① 南家 ② 北家 ③ 式家 ④ 京家
- (5) 下線部(b)の計略とは, 具体的にいかなるものであったか。その説明としてもっとも適切なものを, 次から1つ選びなさい。
- ① 頼朝が, 後白河法皇に, 源義経追討の院宣を出させようとした。
 - ② 頼朝が, 壇の浦で捕縛された平宗盛を斬殺しようとした。
 - ③ 頼朝が, 娘の大姫を後鳥羽天皇の妃にしようとした。
 - ④ 頼朝が, 藤原秀郷の後裔を名乗る奥州藤原氏を打倒しようとした。

(6) 空欄 には、ある合戦の名称が当てはまる。その説明としてもっとも適切なものを、次から1つ選びなさい。

- ① 摂津国福原に集結した平家軍が一の谷に対陣したところを、源氏の兄弟が二方向から攻撃し敗走させた。
- ② 短文Dの人物の率いる軍が、越中と加賀の境をなす俱利伽羅峠で平維盛軍と激突、前者が角に松明を付けた牛を放って夜襲をしかけ、後者を敗走させた。
- ③ 再挙した頼朝を追討すべく派遣された平維盛軍が、富士川を挟んで源氏の軍と対陣し、夜襲の気配に飛び立つ水鳥の羽音に驚いて敗走した。
- ④ 短文Dの人物の率いる軍が、源範頼・義経の率いる軍と山城国宇治川で戦った。

(7) 空欄 には、ある役職が当てはまる。これに任命されなかった人物を、次から1つ選びなさい。

- ① 源頼朝 ② 坂上田村麻呂 ③ 宗尊親王 ④ 平清盛

(8) 次に掲げたのは、それぞれ中世の古文書や文献の一部である。下線部(c)に関する記事として相応しいものを、1つ選びなさい。

- ① 謀叛の賊義朝の子、年来配所伊豆国に在り。而るに近日凶悪を事とし、去んぬる比新司の先使を凌磔す。〔玉葉〕
- ② 然る間、彼の義時朝臣、偏へに言詞を教命に仮り、恣に裁断を都鄙に致す。剩へ己が威を耀かし、皇憲を忘れたるが如し。〔小松美一郎氏所蔵文書〕
- ③ 而るに今逆臣の讒に依て、非義の綸旨を下さる。名を惜しむの族は、早く秀康・胤義等を討ち取り、三代將軍の遺跡を全うすべし。〔吾妻鏡〕
- ④ 正仲・嘉曆ノ比ハ、其振舞先年ニ超過シテ、天下ノ耳目ヲ驚ス。吉キ馬ニ乘リ列レリ。五十騎百騎打ツ、キ、引馬・唐櫃・弓箭・兵具ノ類ヒ、金銀ヲチリハメ、鎧腹卷テリカ、ヤク計也。〔峰相記〕

(9) 空欄 には、ある人物の名前が当てはまる。その人物の説明と
してもっとも適切なものを、次から1つ選びなさい。

- ① 石橋山の戦いで源頼朝の窮地を救い信任を得たが、頼朝の死後に三浦氏らに排斥され殺された。
- ② 娘を源頼家に嫁がせ外戚として権勢を得たが、1203年北条氏追討に失敗して殺された。
- ③ 甲斐源氏として1180年9月に挙兵、富士川の戦いで戦功を挙げ駿河の守護となった。
- ④ 源頼朝の挙兵に際し2万騎を率いて従軍、富士川の戦いの後には、平家の軍勢を追撃しようとする頼朝を諫め、北方の佐竹氏に備える必要を説いた。

(10) 空欄 に当てはまる人物の名前としてもっとも適切なものを、
問1の語群より1つ選びなさい。

(11) 短文Gの人物の提案によって実現した政策を、次から1つ選びなさい。

- ① 御成敗式目の制定。
- ② 守護・地頭の設置。
- ③ 東海道・東山道支配権の要請。
- ④ 評定衆の設置。

(12) 空欄 には、ある東国武士の一族の名称が当てはまる。もっとも適切なものを、次から1つ選びなさい。

- ① 上総氏 ② 千葉氏 ③ 三浦氏 ④ 秩父氏

(13) 下線部(d)は、何という戦いであったか。もっとも適切なものを、次から1つ選びなさい。

- ① 和田合戦 ② 宝治合戦 ③ 牧氏の乱 ④ 宮騒動

(14) 空欄 キ に当てはまる人物の名前としてもっとも適切なものを、問1の語群より1つ選びなさい。

(15) 下線部(e)は、何という争乱であったか。もっとも適切なものを、次から1つ選びなさい。

- ① 和田合戦 ② 宝治合戦 ③ 牧氏の乱 ④ 宮騒動

3 次に掲げる史料は、幕府によって出された「寛政異学の禁」の文章である。各設問に答えなさい。

(宛名略)

(あ)の儀は、慶長以来御代々御信用の御事にて、已ニ其方家代々右学風維持の事仰せ付け置かれ候儀ニ候得共、油断無く正学励、門人共取立申すべき筈ニ候。然処近来世上種々新規の説をなし、異学流行、風俗を破り候類之有り、全く正学衰微の故ニ候哉、甚だ相済まざる事ニて候。其方門人共の内にも右体の學術純正ならざるも、折節は之有る様ニも相聞え、如何ニ候。此度聖堂御取締嚴重に仰せ付けられ、(い)、(う)儀も右御用仰せ付けられ候事ニ候得ば、能々此旨申し談じ、急度門人共異学相禁じ、猶又、自門に限らず他門ニ申し合せ、正学講窮致し、人才取立候様相心掛申すべく候事。

問1 空欄(あ)には、ある学問の名が指摘されている。次の文章は、その学問の日本移入時のいきさつを述べたものである。空欄(A)～(I)に入る語句を語群①～⑩から選びなさい。

(A)時代の終わりころ、この学問が日本に伝えられ、中国の王朝名をとって(B)学とよばれた。そもそもこの学問は(C)によって11世紀

に大成されたもので、経書の字句・字義の解釈を主とする(D)の学風を排し、思索を重んじ名分をただそうとする学派である。日本には、京都の泉涌寺を再興した(E)や五山の文学僧として知られる(F)によって伝えられた。建武式目制定に参加した僧(G)は(C)の注釈によって朝廷で四書を講義した。また、『(H)』や『職原抄』などを著した(I)も(G)に学んでいる。

[語群]

- | | | | |
|---------|---------|-------|---------|
| ① 栄西 | ② 室町 | ③ 漢 | ④ 禁秘抄 |
| ⑤ 訓詁 | ⑥ 玄恵(慧) | ⑦ 吾妻鏡 | ⑧ 後醍醐天皇 |
| ⑨ 公事根源 | ⑩ 孔子 | ⑪ 慈円 | ⑫ 鎌倉 |
| ⑬ 朱熹 | ⑭ 修辞 | ⑮ 重源 | ⑯ 俊苻 |
| ⑰ 神皇正統記 | ⑱ 宋 | ⑲ 太平記 | ⑳ 中巖円月 |
| ㉑ 陳和卿 | ㉒ 唐 | ㉓ 南北朝 | ㉔ 平安 |
| ㉕ 北畠親房 | ㉖ 明 | ㉗ 孟子 | ㉘ 有職故実 |
| ㉙ 蘭溪道隆 | ㉚ 論証 | | |

問2 次の文章は、上記史料(あ)に該当する学問について、16世紀末から17世紀初頭の出来事を述べたものである。空欄(a)～(f)にあてはまる語を、語群①～⑳から選びなさい。

この学問は君臣・父子の別をわきまえ、上下の秩序を重んじる学問であったため、幕府や藩にもうけいれられた。京都(a)寺の禅僧であった(b)は、この学問を修め、還俗してその啓蒙につとめた。著書には『寸鉄録』や『(c)』などがある。その際、1597年(d)の倭乱で藤堂高虎軍の捕虜となって滞日していた学者(e)との交流を経て、学問を体系化し、(f)派を形成した。その弟子には、那波活所、松永尺五、堀杏庵らが名を連ねている。

〔語群〕

- | | | | |
|----------|----------|--------|------|
| ① 文章達徳綱領 | ② 東福 | ③ 林鳳岡 | ④ 国学 |
| ⑤ 顕戒集 | ⑥ 六諭衍義大意 | ⑦ 庚午 | ⑧ 南禅 |
| ⑨ 李舜臣 | ⑩ 古学 | ⑪ 林羅山 | ⑫ 壬辰 |
| ⑬ 相国 | ⑭ 藤原惺窩 | ⑮ 夢窓疎石 | ⑯ 丁酉 |
| ⑰ 李退溪 | ⑱ 京学 | ⑲ 南学 | ⑳ 姜沆 |

問3 上記史料の空欄(あ)に該当する学問名は何か。

- ① 朱子学 ② 洋学 ③ 蘭学 ④ 南学 ⑤ 本草学

問4 「寛政異学の禁」が出されたのと同じ年(1790年)、幕府は「出版統制令」を出し、風俗矯正の施策を実施した。これにより、翌年、罰せられた洒落本の作者は誰か。

- ① 式亭三馬 ② 為永春水 ③ 上田秋成 ④ 山東京伝
⑤ 十返舎一九

問5 史料中、下線部(ア)に「慶長以来御代々御信用」とある。それは、徳川家康がある人物を登用したことにはじまるが、その年は次のどれか。

- ① 1604 ② 1605 ③ 1606 ④ 1607 ⑤ 1608

問6 史料中、下線部(イ)に「已ニ其方家代々右学風維持の事仰せ付け置かれ候」とある。この家について述べた以下の文章のなかの空欄(A), (B)に当てはまる語句を語群①～⑩から選びなさい。

この「家」は、江戸幕府の官として文書行政や教育をつかさどった家をさす。当家の祖は、(A)年に家塾を上野忍ヶ岡の地に開いた。当家の私塾は寛政期に官立の学問所(B)に発展した。三代目のとき大学頭の官号を得た。

〔語群〕

- ① 1626 ② 1628 ③ 1630 ④ 1632 ⑤ 1634
⑥ 興讓館 ⑦ 時習館 ⑧ 昌平黌 ⑨ 適塾 ⑩ 懷徳堂

問7 史料中、下線部(ウ)の「異学」について、次の(1)～(6)の〈著者〉と〈著作〉、〈その概要〉の3つが正しい組み合わせになっているものはどれか。すべて選びなさい。

- | 〈著者〉 | 〈著作〉 | 〈概要〉 |
|----------|--------|---|
| (1) 山鹿素行 | 『政談』 | － 10巻からなり、為政者の決断・実行力を強調。幕藩制社会の実情の点検などが主な内容。 |
| (2) 伊藤仁斎 | 『童子問』 | － 孔子の『論語』の最上性、論語と孟子の一貫性を説く。作者晩年の作。 |
| (3) 中江藤樹 | 『経済録』 | － 将軍の諮問に答えた幕政改革案で、参勤交代の弊の打破などが説かれる。 |
| (4) 荻生徂徠 | 『中朝事实』 | － 聖人とは何かを問い、武士日用の道徳を主張した。 |
| (5) 太宰春台 | 『翁問答』 | － 師と門人とのやりとりで、学問・道徳・生活・信仰などを解く。 |
| (6) 熊沢蕃山 | 『大学或問』 | － 重農主義の立場から武士の帰農、参勤交代の廃止、米本位経済体制の確立などを主張した。 |

問8 史料中の空欄(い)には、この異学の禁の推進者で讃岐高松出身の学者が(史料中では字で^{あざな}名指しされている。空欄(う)には、同じく異学の禁を進言した伊予出身の人物が(史料中は通称で)指摘された。また、もう一人、上記(い)、(う)とともに、最初崎門学を学び、松平定信に登用された人物(え)がいた。これらの人物は「寛政の三博士」と呼ばれる。後に、(え)が代官となり、先のグループから離れたのち、佐賀藩士で、はじめ陽明学を学び、のちにこのグループに加わった人物(お)がいる。

空欄(い)～(お)の人物として該当するものを下記の語群①～⑩(すべて本名で記す)からそれぞれ選びなさい。

[語群]

- ① 藤田東湖 ② 伊東玄朴 ③ 尾藤二洲 ④ 古賀精里
⑤ 服部南郭 ⑥ 柴野栗山 ⑦ 高橋景保 ⑧ 中沢道二
⑨ 岡田寒泉 ⑩ 広瀬淡窓

4 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

大久保利通が率いた政府は、(1)年に起こった西南戦争の戦費調達のため、^(a)不換紙幣を増発する一方、(2)年の条例改正で兌換義務をとりぞかれた(A)が、次々に設立されて、不換銀行券を発行した。そのため、激しいインフレがおこり、紙幣の価値が下落した。そこで、政府は(3)年、大蔵卿の大隈重信が中心となって増徴し、(B)の払下げ方針を決定するなど、財政・紙幣整理に着手した。^(b)そして、翌年、(a)が大蔵卿に就くと、増税による歳入の増加をはかる一方、軍事費以外の歳出を徹底的に緊縮した。そして、不換紙幣を処分するデフレ政策をとりつつ正貨の蓄積を進め、(4)年、中央銀行として日本銀行を設立した。

このような諸政策のため、一時はデフレと不況が深刻化した。それでも、それらはやがて落ち着き、会社設立のブームがおこり、産業革命が日本においてもはじまった。そして、政府は、日清戦争での勝利による賠償金をもとに金融・貿易の自由化もはかり、(5)年には貨幣法を制定し、また欧米諸国にならって金本位制を採用し、貨幣価値の安定と貿易の振興をもたらした。貿易の規模は、産業革命の進展につれて拡大したが、原料品や重工業製品の輸入増加のため、大幅な輸入超過となった。貿易品の取扱いは、(C)物産に代表される商社が活発にうごき、特殊銀行である(D)正金銀行が積極的に貿易の金融を取り扱った。また、政府は(6)年、航海奨励法などを公布して、外国航路への就航に

補助金を出すことを決めたが、(E)郵船会社などがぞくぞくと遠洋航路をひらいていった。

日本の産業革命の中心は、紡績業であったが、(7)年には渋沢栄一たちが設立した(F)紡績会社が開業し、大規模経営に成功した。一方、主に手織機によって問屋制家内工業生産が行われていた農村の綿織物業では、(b)などが考案した小型の国産力織機を導入して小工場に転換する動きが進んだ。

鉄道業では1880年代以降、民営鉄道会社が次々にできたが、日露戦争後になって、(c)内閣は、軍事的配慮もあって、鉄道国有法を公布し、主要幹線の民営鉄道を買収して、国有化した。

一方で、産業革命期には栃木県の足尾銅山の鉍毒が渡良瀬川流域の農漁業に深刻な被害をもたらし、栃木県選出の衆議院議員(d)が議会で政府に銅山の操業停止を迫ったり、議員を辞職して天皇に直訴しようとしたものの、果たせなかったという出来事もあった。

問1 上記の文章中の空欄(a)～(d)に当てはまるもっとも適切な人物を、以下から1人ずつ選びなさい。

- | | | | |
|---------|--------|--------|---------|
| ① 鳥田三郎 | ② 臥雲辰致 | ③ 高橋是清 | ④ 伊藤博文 |
| ⑤ 西園寺公望 | ⑥ 松方正義 | ⑦ 桂太郎 | ⑧ 豊田喜一郎 |
| ⑨ 中江兆民 | ⑩ 豊田佐吉 | ⑪ 井上馨 | ⑫ 田中正造 |

問2 上記の文章中の空欄(A)～(F)に当てはまるもっとも適切な語句を、以下から1つずつ選びなさい。

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| ① 三井 | ② 富岡 | ③ 東京 | ④ 普通銀行 |
| ⑤ 官営工場 | ⑥ 横浜 | ⑦ 東洋 | ⑧ 広島 |
| ⑨ 神戸 | ⑩ 三菱 | ⑪ 官立銀行 | ⑫ 安田 |
| ⑬ 国立銀行 | ⑭ 愛知 | ⑮ 共同 | ⑯ 大阪 |
| ⑰ 合同 | ⑱ 国営工場 | ⑲ 共営工場 | ⑳ 公立銀行 |
| ㉑ 公営工場 | ㉒ 日本 | ㉓ 住友 | ㉔ 北海道 |

問3 上記の文章中の下線部(a)~(c)の人物にもっとも関係が深く、かつ内容が正しい事がらを、以下から1つずつ選びなさい。

- ① 幕末期には幕府に仕えた。
- ② 現在の高知県の出身であった。
- ③ のちに政党の自由党を結成した。
- ④ 現在の山口県の出身であった。
- ⑤ のちに二度にわたって首相に就いた。
- ⑥ 現在の千葉県の出身であった。
- ⑦ いわゆる征韓論には賛成した。
- ⑧ のちに暗殺された。
- ⑨ のちに政界入りした。

問4 上記の文章中の空欄(1)~(7)の出来事が起こった年は、西暦で何年か。以下から1つずつ選びなさい。同じものを何回選んでもよい。

- ① 1876 ② 1877 ③ 1878 ④ 1879 ⑤ 1880 ⑥ 1881
- ⑦ 1882 ⑧ 1883 ⑨ 1884 ⑩ 1885 ⑪ 1886 ⑫ 1887
- ⑬ 1888 ⑭ 1889 ⑮ 1890 ⑯ 1891 ⑰ 1892 ⑱ 1893
- ⑲ 1894 ⑳ 1895 ㉑ 1896 ㉒ 1897 ㉓ 1898 ㉔ 1899
- ㉕ 1900



